

豊明市教育委員会 会議録

「定例会 平成24年4月」

平成24年4月17日(火)午後2時00分豊明市教育委員会4月定例会は、豊明市役所東館3階教育委員会室に招集された。

1 応召委員は、次のとおりである。

委 員 長	：	山 下 徳 治	委員長職務代理者	：	丸 山 千代子
委 員	：	堀 井 典 子	委 員	：	青 山 佳 代
教 育 長	：	後 藤 学			

2 不応召委員は、次のとおりである。

な し

3 出席委員は、次のとおりである。

委 員 長	：	山 下 徳 治	委 員	：	堀 井 典 子
委 員	：	青 山 佳 代	教 育 長	：	後 藤 学

4 欠席委員は、次のとおりである。

委員長職務代理 ー 丸 山 千代子

5 会議事件説明のため出席を求めたものは、次のとおりである。

教 育 部 長	：	神 谷 巳代志	指 導 室 長	：	小 出 貴 之
学 校 教 育 課 長	：	津 田 潔	生 涯 学 習 課 長	：	吉 川 勝 美
図 書 館 長	：	神 谷 元 弘	学 校 教 育 課 主 幹	：	青 木 隆 夫
指 導 室 長 補 佐	：	今 井 智 樹	学 校 教 育 課 長 補 佐	：	中 野 和 博
課長補佐兼文化会館館長	：	鈴 木 英 樹	課長補佐兼福祉体育館長	：	加 藤 金 吾
課長補佐兼給食センター長	：	石 川 広	学 校 教 育 課 庶 務 担 当 係 長	：	濱 島 英 生

6 本会の事務に従事したものは、次のとおりである。

学校教育課 主査 ー 若 井 雅 宏

7 本会事件は、次のとおりである。

報告

- (1) 主任等の任命について
- (2) 平成23年度豊明市教育委員会下半期事業報告について
- (3) 小中学校の耐震工事に関する交付金事業について
- (4) 平成23年度学校評価の結果について
- (5) 教育委員会要綱等の一部改正について

開 会 宣 言 午後2時00分、4月定例教育委員会の開催を宣言。

会 議 録 承 認 前回3月定例会(3月14日分)の会議録を承認する旨確認。

委 員 長 報 告 3月及び4月に出席した会議等がなかったので特に報告事項はありません。

学校においては4月5・6日からの入学式から新年度が始まっており、着任式でも申し上げましたが中学校においては、新学習要領に完全移行となっています。先生方には昨年度

までに十分準備して頂いていますが、スムーズな移行ができるようお願いします。
つぎに教育長報告をお願いします。

教育長報告 私からは3点報告させていただきます。

まず、1点目は4月の人事異動についてです。教育委員会においては入出合わせて40名の異動がありました。

これは団塊世代の退職に伴う世代交代、また若手職員のジョブローテーションという制度も相まって大規模な異動となったものであります。

また、近年の行革による職員定数の削減も行われており、本年は文化会館及び体育館においてそれぞれ1名ずつの職員減となりましたが、事務の効率化及び出先機関で行っている補助団体の事務の見直し等を進めていきたいと思いをします。

なお、職員の削減はさらに続きますので、今後は出先機関の指定管理者制度の導入も視野に入れていくこととなります。

2点目ですが、中学生の海外派遣についてです。本年度も従来どおり準備を進めているところですが、今回から要保護・準要保護及び障がい者の生徒についても応募できるように見直しを行いました。具体的には、要保護は自己負担の免除、準要保護は軽減、障がい者においては介助者の付き添いが必要な場合は、介助者の負担額の半額を補助するものであります。これは、義務教育である中学生を対象として行う事業であるため、保護者の経済状況や、障がいの有無による不平等が生じないように参加の機会を保障するものであります。内容については要綱の作成を別の定例会で審議いただきたいと思います。

3点目ですが、教職員の現職教育についてです。4月11日に現職教育委員会、これは校長・教頭の代表及び教務主任で構成された委員会ではありますが、ここで今年度の事業計画を決定しました。この計画には経験年数や職務に応じた各種の研修が盛り込まれており、教職員の資質向上に役立っています。近年は新学習指導要領の実施、教職員の世代交代、臨時職員の増加等々教育現場の変化に対応した計画を立てています。

具体的には新要領で完全実施となった外国語活動の研修、若手のための授業力向上研修、補助教員などの臨時職員のための研修、さらには生徒の満足度を高めるQ U活用なども盛り込まれています。年間約300万円の予算を頂いているので有意義な現職教員の研修に活用していきたいと思いをします。

以上です。

委員長 ただいまの委員長・教育長報告にご意見ご質問はございませんか。

委員 海外派遣については、以前からこの委員会では見直しという話があったと思うが
昨年は向こうから来なかったが本年はどうなっているか。

教育長 今年は来る予定となっています。

室長補佐 6月と9月に来る予定です。

委員 相互の交流が図れるなら意義があると思います。要保護、準要保護等への補助は良いと思うが、海外派遣の意義を再度検討して事業を進めていてもらいたい。

委員長 確認ですが、要保護・準要保護等への補助については現状の予算で可能ですか。

教育長 現在の予算で十分対応できます。

委員長 その他、質問ご意見はよろしいですか。（なし）ではただいまの委員長報告及び教育長報告は了承とします。続いて議事に入ります。

議 事 の 経 過

委員長 では、本日は議案なしということですので、報告（１）主任等の任命について、説明をお願いします。

指導室長 （資料１号に沿って説明する。）

委員長 ただいまの報告（１）についてご意見等はございますか。（なし）では、報告（２）平成２３年度豊明市教育委員会下半期事業報告について、説明をお願いします。

指導室長、給食センター所長、生涯学習課長、文化会館館長、体育館館長、図書館長、（資料２号に沿って説明する）

委員長 ありがとうございます。ただいまの報告（２）平成２３年度豊明市教育委員会下半期事業報告について、なにかご意見等はございますか。

委員 体育館では工夫をしていただき、スポレクフェスティバルの参加者が増えたのはよかったと思います。文化会館の歌謡・パントマイムの入場者が少ないが、このことについては、どんな分析をしていますか。

文化会館館長 市民スタッフ「文化の風」の事業であるため特に分析は行っていません。

委員 では歌謡についてはどうですか。

文化会館館長 歌謡は直営事業です。宣伝不足であったと思われます。

委員 毎年この時期の実施は、運動会などの学校行事等の関係か入場者が少ないので、

いろいろ検討をしていただきたい。

文化会館館長 費用の関係もあり、なかなか人を集められない現状ではありますが、今後は費用対効果の点からも工夫をしていきます。

委 員 大変だと思いますがよろしくお願いします。

委 員 全体に事業の入場者数とか、参加者の数値は示されているが、各事業の目標値とか方針を持っているのか、あるいは例年どうりの事業を漫然と行っているだけなのか。せっかく良い事業を行っているのだから達成率とか示めせるような事業計画を立てると良いのではないか。

委員長 どなたか達成率等の目標を設定して事業計画を立てていれば、説明をお願いします。

体育館館長 スポーツ教室のようなものは、定員が決まっているのでそれ以上の参加者を集めることは無理である。ウォーキングのような企画は多くの方に参加してもらうことが可能ではあるが、限られたスタッフで参加者の安全性を確保するためむやみに参加者を増やすこともできない。また、当日の天候に左右されるため、目標値は立てにくいと思います。気持ちはいつも大きな目標値をもって事業を行っています。

委員長 各課でいろいろ検討をしていると思うが、さらに市民の需要を調査して事業を行ってください。また、文化会館の貸館時間について、準備と片付け時間を考慮した利用時間に変更したのか伺いたい。

文化会館館長 午前9時から利用者については8時45分からの準備、正午過ぎの片付けも可能としています。

委員長 今後も利用者側に立った対応をお願いします。指導室の先生に伺いますが、毎年問題となる不登校対策についてですが、中学と小学校とでは違うと思いますが早期に芽を摘むということからも、現場では子供たちのどんなところから察知することができですか。

指導室長 前兆ということでは、やはり対教師あるいは子供同志の会話が少なくなるということが一番の前兆だと思います。そこでその子の話をいろいろ聞いていくと、家庭環境・交友関係あるいは、いまどこで躰ているかといったことが分かってきます。それから、休み時間の過ごし方の様子を注意深く見るのが一番必要だと思います。

委員長 不登校は中学生が圧倒的に多いと思うが小学校のときから兆候があるのか、あるいは中学校になって突然そうなるのか、家庭環境が一番大きな要素だと思うが、有効な不登校対策は学校側でとることができますか。限界はあると思うが、ホームフレンドなどの活用等の学校の対策で防ぐことができますか。

指導室長 中学生の不登校生の名簿を見ると、やはり小学校のときから予兆のある子が多く含まれます。中学生になってから突然という子は少ないようです。小学校のうちはそのような兆候はなかなか表に現れてきません。表に現れる低学年の子供ですが、この年ごろの子は教師が親と協力して強引にでも登校させることができます。高学年になって来ると、単純に外からの刺激では解決できなくなってきました。小学校の時は友達関係も穏やかなため、なんとか卒業することができます。しかし中学生になりそれぞれが自分の道を見つけてくると、自分の事で精一杯となり友達のことに気がまわらなくなってきました。そうすると孤立感が深まって不登校になってしまうということだと考えます。したがって小学校のうちなら友達関係とか上下関係とかグループ活動で改善するということができると思います。中学校ではそういった関係作りが難しくなってくることから個別の対応を中心に進めています。今後はホームフレンド等の利用を今以上に有効に活用していきたい。

委員長 そうすると中学生になってしまってからでは、その場の対策しか取れないということですね。根本は小学校にあるということですね。ホームフレンドはフレンドひまわりに通っている子だけしか利用はできないですか。

教育長 学校からの紹介があれば、フレンドひまわりに通っている子でなくても利用することができます。

委員長 フレンドひまわりに通ってなくても利用できるわけですね。制度を十二分に利用していただいてこの問題に対処してください。ほかに質問はありますか、（なし）では、報告（２）については承認とします。つぎに報告（３）小学校の耐震工事に関する交付金事業について、説明をお願いします。

学校教育課長（資料３号に沿って説明する。）

委員長 ありがとうございます。ただいまの報告（３）小学校の耐震工事に関する交付金事業について、なにかご意見等はございますか。

委員 夏の工事で終わるということによろしいですか。

学校教育課長 そうです。夏休み期間中に工事を行います、完了は秋口になると思います

委員長 耐震工事については、出遅れた感もありましたが、各方面の努力もあり終了となります、ご苦労様でした。では、報告（４）平成２３年度学校評価の結果について説明をお願いします。

指導室長 （資料４号に沿って説明する。）

委員長 ありがとうございます。学校評価に関しては、よくやっていただいております毎年レベルが上がってきているなと思いますがいかがですか。

委員 それぞれの学校が評価項目を定めて改善をしていることは良いが、各学校の評価項目を定めるレベル、水準にばらつきがあるのではないか。市全体で何か共通の項目をあげて評価するといった方法を取った方が、豊明全体の教育の動きというか、方向性などの全体像と共に各学校の違いも際立ち、よりいっそう良い学校評価になるのではないかと思います。

委員 せっかく学校評価を出しながら、その評価に対する市全体の取り組みについて判りづらいので、やはり全体としての共通項があったほうが良いと思います。

指導室長 各学校の項目の定め方については、市全体の教育目標を定めたなかから、各学校の特色を踏まえつつ、また経年変化を見たいということもあり、なかなか項目の変更ができないということもあります。しかし観点を一覧表にまとめてみると「学力向上に関すること」「体験活動、異学年交流などによって豊かな心を育むこと」「挨拶するなどの基本的な生活習慣の定着を図ること」という項目がほぼ全学校に入っています。それを表現する文言が異なるため、全体の統一感がないと取られてしまう部分はあると思います。表現の違いは各学校にあるものの、この項目はこういった観点からといったような共通であることがわかるような表現方法を取り入れていきたいと思います。

委員長 学校評価制度がスタートした時点では、各学校ごと独自の評価項目で良いという事でしたか。

指導室長 そうです。各学校独自の評価項目でよいということでした。

委員長 それぞれ独自の評価項目からスタートしたことにより、経年変化を見るためになかなか統一することができないということですね。室長が言ったように文言を統一すると比較というか、学校ごとの特色がでてよりいっそう評価制度が有意義なものになりますね。

指導室長 どの学校からも出ていることは、目標をどのように数値化するのが、なかなか難しいということです。「学力の向上」といった項目は統一テストの点数を上げるといったように、数字で表すことができますが、「豊かな心を育む」といった目標はどのように数値化するのか、現場も不慣れなところもあるので統一した基準を作ることが難しいわけです。できるだけ学校間の比較ができるようにしていきたいと思っています。

委員長 各学校の評価方法等を情報交換して、お互いが基準を揃えていくと良いかもしれないですね。

指導室長 評価表は全学校に配るので、そういったことは可能です。

委員長 ありがとうございます。では、報告（５）教育委員会要綱等の一部改正について説明をお願いします。

学校教育課長、生涯学習課長 （資料５号に沿って説明する。）

委員長 ありがとうございます。報告（５）教育委員会要綱等の一部改正について、ご意見等はございますか。

委員 確認ですが、「豊明市生涯学習講座等の託児に関する要綱」の第２条の料金ですが、学級と講座で料金が異なるのは何か特別な理由があるのですか。

生涯学習課長 学級については、子育てをする母親の負担軽減を図るものであります。

委員長 よろしいですか。（よし）では、その他に入ります。その他（１）平成２４年度小中学校四役について、説明をお願いします。

指導室長 （その他資料 に沿って説明する。）

委員長 ありがとうございます。その他（１）について、ご意見等はございますか。（なし）では、その他（２）平成２４年度児童・生徒数及び学級数について、説明をお願いします。

指導室長 （その他資料 に沿って説明する。）

委員長 その他（２）についてよろしいですか。（よし）では、その他（３）は、委員会冒頭に異動者の紹介がありましたので省略します。次にその他（４）次回教育委員会の日程について、お願いします。

教育課長 （５月２２日（火）午後２時００分からを提出。協議を行っていただく。）

委員全員 （了解）

学校教育課長 （６月１９日（火）午後２時００分からを提出。協議を行っていただく。）

委員全員 （了解）

委員長 では、５月教育委員会の日程については、５月２２日（火）午後２時００分から、
６月教育委員会の日程については、６月１９日（火）午後２時００分からということで
お願いします。

次に、その他ありますか。

指導室長 中学校の新学習要領の実施により５月１７日（木）豊明中学校において、体育
教員のための柔道の実技研修が開催されます。教育委員の皆様にもぜひ見学していただ
きたく、ご案内いたします。

委員長 はい、では皆さん都合がよろしければ、ぜひ見学してください。その他ありますか。
（なし）

閉会宣言 委員長は、午後３時４７分定例教育委員会の閉会を宣言。